

元気からだ! Q&A

粘り気がある鼻水が 鼻から喉に落ちる不快、 改善できるの?<small>後鼻漏</small>について

日本医科大学千葉北総病院 耳鼻咽喉科

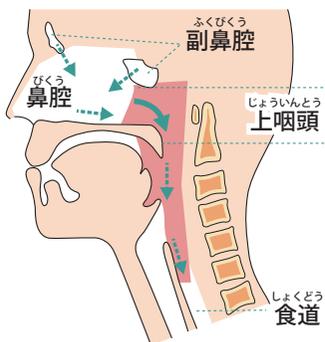
小町 太郎 医師

「鼻水が、鼻の奥からのごへ流れる感覚を不快に感じる症状」があることを後鼻漏といいます。鼻をかんでも出せない、鼻とのどの間にへばりついてとれないなどの違和感だけでなく、のごへの刺激により咳や痰<small>たん</small>の原因にもなります。

原因としては副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎、上咽頭炎などがあり、後鼻漏を確認できることが多いです。一方で、後鼻漏を確認できない「後鼻漏感」の場合もあります。加齢変化や逆流性食道炎、自律神経、心の病気などの関与<small>かゝり</small>が指摘されています。

Q どうして鼻水がのごへ落ちてしまうの?

A 鼻には鼻呼吸やにおいを嗅ぐだけでなく、加温・加湿や異物・老廃物を排除する機能があります。そのため、鼻水は通常でも1日に1〜2リットル分泌されています。鼻や副鼻腔から分泌された鼻水は、粘膜のゆっくりした動きにより、鼻の奥の上咽頭、そしてのごへ流れていきます。さらに、唾液と同様に自然に飲み込むことで、食道から胃へ流れています。



通常この流れを自覚することはありませんが、鼻水の量や性状<small>※(黄色い膿</small>や多量の鼻水、泡立った粘液など)が変化すると、後鼻漏や痰として感じるようになります。

※性状と状態のこと

Q どのように診断するの?

A 舌圧子と内視鏡を用いて、鼻からのごを確認します。鼻水、後鼻漏の部位や量、性状、後鼻漏以外の症状、所見もふまえて、原因となる病気を判断します。必要に応じて画像検査やアレルギー検査、細菌検査なども行います。



Q 治療方法は?

A 副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎、上咽頭炎など原因疾患の治療を行います。副鼻腔炎の場合には抗生物質、去痰薬などの薬物療法や手術、アレルギー性鼻炎の場合には抗アレルギー薬の飲み薬や点鼻薬、免疫療法などがあります。後鼻漏の除去(鼻やのごの処置)、鼻うがいも有用です。加齢変化に対する特効薬は残念ながらありませんが、加湿や鼻うがい<small>が</small>有効な場合はあります。